

先輩インターンの活躍について

派遣年度	2013年度	インターン番号	KB063	タイプ	公募
派遣国	ベトナム社会主義共和国		派遣都市	ホーチミン市	
受入機関	Saigon Water Corporation (SAWACO)				
受入機関概要 (事業内容等)	<ul style="list-style-type: none"> ・水道水の生産、供給および料金徴収 ・浄水設備、配水管路の設計、建設、維持管理 				
派遣期間	2013年9月18日～2013年12月14日				
現在の所属先	積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー		当時の所属先	同左	
現在の所属部署	水インフラ海外事業部		所在地	東京都	
区分	大企業		性別	男	

1. インターンシップに参加されたきっかけや動機についてお聞かせください。

1. 現地水インフラの現状把握と自社製品および技術へのニーズ調査
2. 現地ビジネス推進のための人脈づくり
3. 自分自身の海外勤務適正の見定め

2. インターンシップではどのようなことをされましたか。

様々な部署、施設を訪問し、業務、施設、今後の方針などについての説明を受け、質疑応答や、意見交換を実施をしました。また、現地のニーズに仮説が立ったところで、日本の水インフラの状況の紹介や技術の紹介を行い、今後の方針についても意見交換を行いました。

3. インターンシップに参加して達成できたこと、参加して良かったことは何でしょうか。

(達成できたこと)

1. ホーチミン市の水インフラが抱える問題および今後の方針を知り、ニーズの高いと想定される自社および日本国内の製品・技術についての勉強会、意見交換会を実施した。
2. ベトナムの水インフラに関わるプレーヤーの整理と意思決定プロセスを学べた。また、キーマン、パートナーの明確化と人脈形成ができた。

(良かったこと)

海外でのビジネスの面白さややりがいを発見し、また、自身の海外勤務への適正についても確認をすることができた。

インターンシップ風景



(視察) 浄水場にて水質管理の現状を学ぶ



(視察) 漏水現場にて検知や補修の現状を学ぶ

4 インターンシップの経験は、その後どう活きましたか。具体的なエピソードを交えて教えてください。

このインターンシップを知った頃、積水化学工業株式会社の私の所属する環境・ライフラインカンパニーでは当時ベトナムのTien Phong Plastic社と提携を始めたタイミングでした。ですので、私がインターンシップで得た情報や構築した人脈は社内で即活用可能な資産となりました。そして、私もこれを活用してもっと深く携わりたいと思いました。

しかし、帰国後しばらくは元々の予定どおり所属していた部署に戻り、新製品の開発や営業をおこなうことになりました。この間インターンシップを通じて成長したと感ずることができたのは、コミュニケーションスキルでした。ベトナムでは相手の知識や考え方が大きく異なることで会話が成り立たないこともしばしばありました。日本でも同じことは言えますが、ベトナムでそのギャップを探り、埋めていくプロセスは日本で経験するそれ以上の難しさと楽しさがあり、その感度を鍛えられたと思っています。

一方、インターンシップとは関連の薄い仕事を行う傍らで、今後のキャリアについて考えるようになり、自分自身のスキルやこれまで関係の薄かった社内の基盤事業にも目をむけるようになり、語学の勉強や自分以外の仕事を学ぶ機会をつくるようになりました。インターンシップの期間中で自分の能力や知識が足りずに実現できなかったことが数多くあったからです。

そうして、帰国から2年経ち私は今、主にアジアの水インフラに関わる事業に携わっています。現在はこの間にできたベトナムの子会社の経営管理・事業企画を主におこなっています。といっても実際には、インターンシップでお世話になったSAWACOを訪問して当社の上水道技術で貢献できることがないかヒアリングや提案をしたり、他にも下水道公社と連携してベトナムに新技術導入のための試験施工を実施したりと手足を動かす仕事も少なくないです。

インターンシップで得たベトナムのインフラに関する知見や人脈はそのまま活かされ、情報の収集やキーマンへのアプローチで間違いなく大きな武器になっています。また、その武器を獲得したノウハウを拡大展開しながら、私はいま自分のやりたいことをやらせてもらっています。

5. 最後に、インターンシップへの参加を検討している人たちへメッセージをお願いします。

このインターンシップは自分を試してみる絶好のチャンスだと思います。

自分の視野を広げたり適正を確認するために、「期限つき、サポートあり」で安心して自分に向き合える機会はそう多くないと思います。

本業を離れて参加する際には、その前後で大変な苦勞もあるでしょうが、目標さえ高く具体的にもっていれば、有意義な経験ができると思います。

現在の活躍の様子



(現場)ベトナム初となる老朽埋設管の非開削での更生



(ミーティング)試験施工の結果の報告と今後のプロジェクト推進について